

魅力ある県立短期大学づくりについての 提言書（案）の概要について

「魅力ある県立短期大学づくりについての提言書（案）」の概要は、以下のとおり。

〔下線部分は、提言書（素案）との主な変更箇所〕
ページは資料 2 のページ〕

はじめに

魅力ある県立短期大学づくり検討委員会の設置に至る経緯等（1 ページ）

1 検討の前提となる事項

県立短期大学の設置目的、現状及び取り巻く状況等（2～7 ページ）

2 検討結果

(1) 時代の要請に対応した教育内容の更なる充実

ア リベラルアーツ教育の実践等（8 ページ）

- 「コミュニケーション力」や「実行力」、「主体性」といった人間としての資質を高めるための、アクティブ・ラーニングを取り入れた科目等の設定や、「創造力」や「課題発見力」を養う素地となるリベラルアーツ教育の実践について更に検討すること。
- 教養科目において、郷土に関する学びを通して地域への愛着を育むようリベラルアーツ教育を実践し、更に充実させていくこと。

イ 文学科における教育内容の見直し（9 ページ）

- 「発信力」や「コミュニケーション力」を重視した教育内容の更なる充実を図ること。
- 「コミュニケーション」をキーワードとした学科名称等の見直しについても検討すること。

ウ 鹿児島への愛着を育む教育の充実（9 ページ）

- 観光をはじめとする地域振興に資する人材を育てるという観点から、企業・大学等と連携した取組やフィールドワーク等により、鹿児島の地理・歴史・文化などを学び、地域への愛着を育む教育を更に充実すること。

エ デジタル化やA I の時代に対応した教育の充実（10ページ）

- 小中高教育におけるデジタル化の進展を踏まえ、データサイエンスの教養科目を取り入れるなど教育内容の更なる充実につなげること。
- A I 等の技術を適切に扱うため、A I 等に関する教養や情報リテラシーについての教育を更に充実させるとともに、全学生を対象とした講演会等の開催など大学全体での取組を推進すること。

オ リカレント教育の充実（11ページ）

- 産業界等のニーズを踏まえたリカレント教育を提供していくこと。
- リカレント教育をより充実させるための企業等との連携やサテライト教室の設置、長期履修制度の導入等の検討など、社会人のニーズを踏まえた履修しやすい環境整備に努めること。

(2) 学生の確保に向けた取組

ア 高校生の認知度向上を図る取組（12ページ）

- 県立短期大学での学びについて、より効果的に周知することにより高校生全体の認知度向上につながることを期待されることから、学科・専攻の名称の見直しも含め、認知度を高める方策を検討すること。
- 文学科においては「コミュニケーション」をキーワードとした学科名称等の見直しを検討すること。（再掲）
- 高校生を対象としたオープンキャンパスやミニ講座等の取組の更なる充実及び各種媒体を活用した積極的なPR等により認知度を高め、高校生の県立短期大学への関心と理解を深めること。
- 高校生が、県立短期大学で学ばば、鹿児島でどのような仕事に就け、どのような活躍ができるかというイメージが持てるような情報発信に取り組むこと。

イ 定員等の見直し（13ページ）

- 既存学科の教育の内容の見直しを踏まえ、基本的には収容定員の総数を維持したうえで、必要に応じて配分を検討すること。
- 第二部については、現行の収容定員を維持し、入学者の増加に努めること。

ウ 入学者選抜方法の見直し（13ページ）

- 入学志願者本人の記載する資料を積極的に活用できる「総合型選抜」の導入や選抜方法ごとの募集人員及び試験日程の見直し等について検討すること。

(3) 企業・大学等との連携や地域社会への一層の貢献（14ページ）

- 在校生の学びの機会の充実や企業等への就職，四年制大学への編入など進路選択肢が広がる効果が期待されることから，企業・大学等との連携の機会を増やすこと。
- （連携につなげるため）企業・大学等に対して，県立短期大学の魅力や取組等について積極的にPRを行うこと。
- 県立短期大学の限られた資源の中で，教育内容の充実を図るために，企業・大学等のつながりを深め，これらが有する人やモノなどの資源を活用すること。
- 地域の課題を学生が解決すべきテーマとして捉え，地域住民と一緒に課題について考えていく取組を行うこと。
- 産業界等のニーズを踏まえたリカレント教育を提供していくこと。（再掲）
- リカレント教育をより充実させるための企業等との連携やサテライト教室の設置，長期履修制度の導入等の検討など，社会人のニーズを踏まえた履修しやすい環境整備に努めること。（再掲）

(4) 独立行政法人化（15ページ）

- 県立短期大学に独立行政法人化制度を導入することによるメリット・デメリットについて，県において，具体的な検討・検証を行った上で，独立行政法人化の是非について丁寧に整理すること。

おわりに（16ページ）

- 県立短期大学は，豊かな教養と職業又は実際生活に必要な能力を有する人材を育成し，もって地域社会に寄与するという本来の役割を果たしていることから，今後も引き続き，県立の短期大学として，現在有している資源を最大限活用し，地域社会に貢献することが期待される。
- 将来に向けて魅力ある県立短期大学にしていくためには，時代の要請に対応した教育内容を更に充実させるとともに，学生の確保に向けた取組や企業・大学等との連携による地域社会への一層の貢献等が必要になる。

参考資料（17～19ページ）

検討委員会設置要綱，委員名簿及び検討経過